

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020150

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	7	高齢者支援の充実	事業優先度	B		
単位施策	3	社会参加の促進	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)		
事業名	老人クラブ連合会運営補助事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	5 保健福祉課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	連合会の安定運営		関係課	#N/A		
事業目標	運営費補助		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	有 雄武町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	老人クラブの活性化と地域における親睦や交流を深め、高齢者の福祉向上を図るため、雄武町老人クラブ連合会へ運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。
	事業費(千円)	5,000	1,000	1,000	1,000	1,000
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	1,500	300	300	300	300
	地方債	0				
	その他	0				
実 績 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	1,498	302	295	304	289
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	3,502	698	705	696	711	
関 連 事 項	特定財源の名称					
	道支出金 老人クラブ運営事業補助金	【評価・実績】	(実施内容等) 雄武町老人クラブ連合会運営費補助金	(実施内容等) 雄武町老人クラブ連合会運営費補助金	(実施内容等) 雄武町老人クラブ連合会運営費補助金	(実施内容等) 雄武町老人クラブ連合会運営費補助金
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	運営費補助	運営費補助	運営費補助	運営費補助
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	100%	100%	100%	100%
	全体達成率	20%	40%	60%	80%	
	備考欄					

事業名	老人クラブ連合会運営補助事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	社会福祉係	中西 厳太

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町老人クラブ連合会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	運営補助金の交付	
【抱える課題やニーズは】	人口の高齢化が進み、高齢者等が健康で安心して暮らせる長寿社会づくりが望まれている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	高齢者自身が地域社会の中で、自らの経験や知識を生かして役割を果たしていけるような社会づくりを目指す。	① 交付実績	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	老人クラブ活動の充実が図られ、高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加活動が促進される。		目標値	1,000千円
			実績値	1,000千円
		②	達成度	100.0%
			目標年度	平成29年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	補助金の交付	雄武町老人クラブ連合会へ運営費の補助金を交付した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	全単位老人クラブが加入する老人クラブ連合会の安定的な事業運営と、高齢者の自主的活動を促進するためにも、補助の必要性は高い。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことで、連合会の活動が活発となり、高齢者の健康の維持と福祉の向上が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	組織の事業実施計画に沿って事業が実施されており、効率的である。また平成27年度に事務局を社会福祉協議会に移管したため事務の軽減につながり効率的である。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	連合会は各地区に設置されている単位老人クラブを以て構成されていることから、連合会へ運営費の補助をすることは公平と判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
連合会が事業を行うことで高齢者の健康と生きがいづくりになるため支援が必要である。計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
人口の高齢化と相まって、ますます老人クラブ活動は重要なものであることから、会の活動促進を図るためには現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止